

クラス担任通信

第1学年

◆学年主任・クラス担任から一言

主任：山岡 大（基礎自然科学分野 教授）

前期は新型コロナウイルスの感染拡大によって、新入生が入構できないというかつて我々も経験したことがない状況下で、遠隔による授業からスタートしました。この逆境の中で、殆どの学生が歯科医師になるという自覚のもと、良く授業についてきてくれたと思っています。後期は対面授業と遠隔授業のハイブリット型の授業が開始され、大学生として初めての平常試験も実施されています。

第1学年は、生命科学へつながる基礎科学を学修することで2年次以降の体系的な専門領域への学修へと発展させる重要な学年でもあります。大学での学修は、高校までのお膳立てされた知識を吸収する受動的な方法とは大きく異なり、自ら学ぶことを前提とした能動的なものとなります。この学修方法を早く身につけて、歯科医師国家試験合格に向けて確実に進んで頂きたいと思います。我々はそのサポート役として尽力したいと思います。

担任：佐藤 紀子（健康科学分野 准教授）

学生の顔と名前を覚えるのは得意な方です。担当する「生涯スポーツ（体育実技）」の中で新入生の顔を覚えてきました。しかしながら今年は遠隔授業での実技...誰のことも覚えられないのではないかと心配でした。実際に授業を実施してみると、メールや提出物のやりとりの中で、だいたいの学生の様子が分かってきました。対面授業以上に質問もありましたし、今までの経験や考えていることを知ることもできました。とはいえ、やはり実際に顔を見て、声を聞いてコミュニケーションをとりたいと感じています。気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。

担任：陸田 明智（歯科保存学第I講座 准教授）

授業や実習は保存修復学を担当しています。日頃は歯科病院で齲蝕治療などに対するコンポジットレジン充填を中心とした診療に従事しています。学生とは、第1学年および第2学年では学生行事以外にはあまり関わることはありませんが、第3学年になると授業や基礎実習、第5学年および第6学年では臨床実習、さらに、卒業後の研修で関わることになります。学生の時（学40回）に陸上競技部に所属していたことから、現在は陸上競技部の監督をしています。

担任：角田 麻里子（病理学 助教）

私が担当します『病理学』は第3学年で履修しますので、1年生の皆さんと授業でお会いできるのはもう少し先かと思います。ですので授業等でみなさんをサポートする機会がなかなかありませんが、要所要所で関わっていただけたいと思っています。前期は遠隔授業から始まり、後期は教科によっては対面授業も始まっており、少しずつではありますが環境がまた変化していています。1年生という時間も長いようでとても短いので、大切に過ごしてもらえたらと思います。

担任：渡辺 孝康（基礎自然科学分野 助教）

遠隔授業主体の状況下、幸いにも皆さんが登校する実習を介して直接会える時間が多く、一人ひとりの個性に触れる機会に恵まれたことを実感しています。マスク越しで素顔の全容が掴めないのが痒いところですが、それでも疑問点の解決で晴れた表情や仲間同士で楽しく学修を進める様子はわかるもので、やはり対面ならではの距離感ゆえと感じています。慣れないオンライン授業にいち早く順応した柔軟性には皆さん自信を持って、将来を見据え基礎固めをしながら、一方で学修を楽しむ姿勢も忘れないでもらいたいです。



山岡 大



佐藤 紀子



陸田 明智



角田 麻里子



渡辺 孝康

◆オリエンテーション

当初は4月2日に開催予定であった新入生へのオリエンテーションが、8月25日、26日の2日間に分けて開催されました。入構前の検温、マスクやフェイスシールドの着用、手指消毒や密を避けるための学生間の距離の確保などの感染対策徹底のもとに行われました。

オリエンテーションは本田歯学部長の挨拶から始まり、今村学務担当の話、宮崎学生担当の話、クラス担任の紹介、主任の話と続きました。皆、真剣に話を聞いている様子でした。その後、6～7名の小グループに分かれ、歯学部施設などの校内見学を行いました。1年生にとっては、大学への初めての登校であり、クラスの半分ではあるものの同級生との対面を楽しんでいるように見えました。



◆授業風景(実習)

対面授業は、化学実験と生物学実習の2つの教科で実施されています。現在、実験・実習を受けるために登校する曜日(月曜日、水曜日)と、自宅にて遠隔授業を受ける曜日に分かれています。実験・実習の場では、半年間直接会うことのできなかった仲間たちとともに手を動かして学んでいます。最初こそお互いに緊張する場面も多かったものの、徐々に打ち解け、密を避けながらお互いに協力したり、議論する光景もみられるようになってきています。



◆クラス委員の選出

我々クラス担任と連携して、第1学年のクラス運営等に携わる4名のクラス委員が選出されましたのでご紹介します。今年度は殆どの学校行事の実施が見送られており、活動の場も数少ない状態ですが、クラスのまとめ役として頑張ってもらいたいと思っています。

クラス委員(右から)

1007 天野 真未

1125 ニツ谷 和那美

1128 前山 皓雅

1132 丸子 悟史



◆ワールドカフェ

日本大学には16の学部がありますが、キャンパスがそれぞれ離れており、学部を越えた学生の交流はほとんどありません。そのような中、全学部共通の初年次教育科目である「自主創造の基礎2」では、3年前より「ワールド・カフェ」が開催されています。これはカフェのような空間で自由な意見交換を楽しむことを目的とした授業です。約16,000人の1年生が参加し、学部を越えて、意見交換をする場となっています。今年はオンラインでの開催となりました。学生の事後レポートからは、多様な価値観を知り、自身の視野を広げた様子が伝わってきました。



◆「日本大学健康観察システム」 & 「サーモグラフィーの体温チェック」

本学部では、「日本大学健康観察システムへの記録」と「入構時のサーモグラフィーによる体温チェック」の双方を入構許可の基準とし、発熱がある場合は入構できません。特に「日本大学健康観察システム」への記録による体調把握は、登校前に実施することで大学での学生同士の感染拡大防止に非常に有効です。

これらの体調把握を共に実施していない学生が、入構できないことに伴う対面授業・実習・試験等の欠席については、本人の責に帰すものとして取り扱われることが全員に周知されています。

必ず「日本大学健康観察システム」の記録と「入構時のサーモグラフィーによる体温チェック」を実施してください。

◆発熱したら – 自宅待機と解除の基準 –

待機の基準（一つでも当てはまったら学生課に連絡）

- (1) 発熱があった時（37.5℃以上あるいは平熱より0.5℃高い）。
- (2) 発熱以外の症状（咳・くしゃみ・息苦しさ・強いだるさ・味覚・嗅覚異常など）がある場合。
- (3) 基礎疾患を持つ学生は、軽い症状であっても自宅待機とする。

待機解除の基準（全て満たしたら学生課に連絡）

- (1) 解熱後4日経過している。
- (2) 発熱以外の症状（咳・くしゃみ・息苦しさ・強いだるさ・味覚・嗅覚異常など）についても改善後4日経過している。
- (3) 最初の症状（発熱もしくは2の症状）が発症してから、少なくとも8日以上が経過している。

学生課：03-3219-8004

◆後期の行事・試験日程

後期の主な行事日程と対面授業での試験日程です。ハイブリット型の授業では、各学年で登校日が重ならないように授業日が組まれています。後期の成績評価は、前期同様に定期試験がありませんので、授業への出席、成果物の評価の他、以下に記載した各教科の平常試験（10月～12月にかけて実施）の成績が加味されます。また、学年末には「統合試験Ⅰ」があります。これは1年生の理科3科目で学修した範囲から問題が出題され、成績評価表示においてC以上の評価が得られない場合、進級できない大事な試験です。

<後期行事・試験日程>

- | | |
|-----|--------------------|
| 9月 | 後期授業開始、定期健康診断 |
| 10月 | 創立記念日（4日） |
| | 平常試験（5日：生体高分子） |
| | （26日：生物学実習、遺伝学） |
| | （28日：化学実験） |
| 11月 | 平常試験（9日：生体高分子） |
| | （16日：歯科医学序論Ⅱ） |
| 12月 | 平常試験（2日：生体高分子） |
| | （14日：生物学実習、物理学実験Ⅱ） |
| | （16日：歯科医学序論Ⅱ） |
| | （23日：化学実験） |
| | 冬期休暇 |
| 1月 | 共用試験 CBT（第4学年） |
| 2月 | 歯科医師国家試験 |
| | 統合試験Ⅰ |
| | 統合試験Ⅰ追・再試験 |
| 3月 | 進級判定 |

